



国労教賀第二地区分会

2022年 4月10日 No. 9

発行責任者 佐々木 康

編集責任者 川嶋 庄一



ダイヤ改から1カ月

だー！

サンダーバード
9両ひとり乗務は やはり危険

夜の乗りサンダー京都・高槻・新大阪 神経使うで！

下り温泉客の降車には余裕を持たないと 危ない！

リスク増やしておいてリスクアセスメント？なんなん

緊急要求

ダイヤ改からひと月が経過した。サンダーバード9両ひとりの乗務は神経をすり減らす。要注意駅は客扱い車掌と連携して「乗降確認」を行っていたが、今はひとりの目で判断している。何かがあつてからでは遅すぎる。現場社員の声を聴き元の乗組基準(9両2人乗務)に戻すべきだ。

どーが効率的・機動的か？ 他区所列車乗込特改

乗り込んでくる他区所の特改乗務員、「この仕事は賛成できませんー」と口を揃える。全く同感である。この施策はお客様目線ではない。異常事対応等を考慮すればお客様にマイナスとなる。効率・機動的と展開するが、車掌総じて愚策と捉えている。間違いを認め現場に任せることを強く求める。

小浜町から

遠隔MVのオペレーター対応が遅すぎてお客様に迷惑をかけている。稼働台数に対して要員が少ないためだ。非接触・非対面販売と宣伝しているが、慣れるまで窓口併用等柔軟に対応できないものなのか？

界限

米アマゾン物流拠点職場で労働組合結成の動きがある。NYスターバックスでも労働組合結成を目指している。これらはバイデン

大統領の労組支援の公約が後押ししている背景がある
▼反組合の立場にある大企業2社に対し労働条件・環境の改善を求め従業員が立ち上がったことが重要である。
▼労働組合は要求に基づき労働条件の改善を図る団体であるが、それを嫌悪する経営側があの手この手で介入してくるのも世の常である。団結に対し不利益な扱い、一部の者に対する利益誘導等くさびを打つことに血眼になる。▼岸田政権には労働組合として期待は出来ない。首相が曰く未だはつきりしない「新しい資本主義」には注意しなければならない▼労働組合を選択することは生き方を選ぶことかもしれない。新入社員の皆さんよく吟味してから選択を…